

桑名市立厚生館保育所 + 桑名たいりん保育園開設説明会

公私連携型保育所



本日の流れ

- 挨拶

社会福祉法人明健福祉会 理事長
桑名市こども未来部 部長

- 説明～公私連携保育所とは～

桑名市こども未来部 幼保支援課長

- 説明～新しく開設する保育園について～

社会福祉法人明健福祉会 たいりん保育園 園長

- 説明～入園について～ 申し込み方法・スケジュール

桑名市こども未来部 幼保支援課主幹

開設予定の保育園について

名 称 公私連携型保育所

(仮称) 桑名たいりん保育園

所在地 三重県桑名市駅元町10 桑名市厚生館保育所跡

園舎概要 鉄骨造 2階建て

敷地面積 1779.44m²

建築面積 742.05m² 延べ面積 1390.41m²

駐車場 園舎前に11台 (内思いやり駐車場1台)

開園予定日 令和8年4月1日

受入月齢 生後57日～就学前

開園時間 7：00～19：00

保育標準時間 7：00～18：00

短時間保育 8：30～16：30

定員 110名（予定）

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
定員数	9	18	18	18	23	24	110

保育理念、保育目標



理念 一人一人を大切にし共に育ちあう

保育目標

- ・子どもの主体性を大切にし、子どもたちが夢中になって遊び、活動できる環境を用意する。
- ・知識や技術を教え、何かが出来るようになることを目的とするのではなく、本物に触れることや、試行錯誤しながら答えを導き出す経験や活動を、子どもが友だちや保育者ととことん楽しむことで、学力の基礎となる力や生きる力の基礎を育む。

保育目標

- ・園外保育、運動遊びを通して心身共に健康ですこやかな身体作りをする。
- ・生活や遊びの中で仲間と共に考え協力し合い、行動できる力を培う
- ・豊かな経験を通して、感じたこと、想像したことを表現できる感性を養う

厚生館保育所の保育を引き継ぎながら、2つの園の理念や保育目標を基に今後2園で保育内容を話し合っていきます。



旧厚生館保育所

厚生館保育所の行事を
引き継いでいきます

年間行事予定

※行事予定は、変更または中止することもあります。

4月	入所式・クラス懇談会 内科検診	10月	運動会 遠足 乳児個別懇談会 内科検診
5月	遠足 クラス懇談会	11月	消防実施訓練(消防署) 歯科指導(歯科医)
6月	虫歯予防の集い 歯科検診 フラネタリウム見学 (5歳児)	12月	生活発表会 クリスマス会・幼児個別懇談会
7月	プール開き 七夕の集い・夏まつり	1月	防災映画鑑賞
8月		2月	人形劇鑑賞(2歳児～) お店屋さんごっこ クラス懇談会
9月		3月	ひなまつり会・お別れ会 卒園式

幼児 あそぼうday…9・10・12・1月

乳児 あそぼうday…10・11・1・2月

1日の保育の流れ

 登所
7:00~9:00

お仕事の時間に
合わせて登所し
ます。



→  遊び →

室内や戸外で先生や友だち
と楽しく遊びます。

* 乳児クラスは
午前のおやつを
食べます。



 食事 →

楽しい雰囲気の中で栄養の
バランスの取れた給食を食べ
自然に正しい食習慣を
身につけていきます。



 午睡

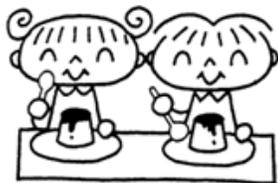
元気に活動をした後は
休息をとります。

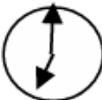
0、1、2、3歳児は
年間を通して行います。
4歳児は12月頃迄、
5歳児は夏季のみです。



→  おやつ →

大事な食事の一環です。
安全で栄養のある手作り
おやつをいただきます。



 降所
16:00~19:00

異年齢のお友だちと遊び
お迎えの子から順に
お家に帰ります。



デイリープログラム
(1日の流れ)も、
厚生館保育所とたい
りん保育園は同じで
したので、このまま
の流れです。

菰野たいりん保育園の保育を少し紹介します



地域の方の田んぼを借りてもち米を育てたよ

自然と共に 地域と共に



お散歩楽しいね

大好きな先生や年齢の違う友だちと



自分の好きと共に
遊びと生活
異年齢 食育



食育活動
栽培、収穫、調理



友だちと一緒に試したり協力したりして遊びます



先生や友達と一緒に
先生に見守られて



運動会、発表会は自分たちでやりたいことを決めます。どんなストーリーになるのかな？話し合っていて決めていきます。



泥団子つくりと
運動会の保護者
競技の応援

先生と手遊び



散歩に出かけて自然
に触れて共感



身近な人と共に



多様な人と共に



色々な人と関わり
様々な経験をするこ
とは豊かな人間形成
の基盤になります



たいりん保育園の特徴

• 手ぶら登園 お家の方の負担軽減と持ち物一括管理で衛生的

たいりん保育園は、入園前も入園後の毎日の登降園の際も、保護者の準備がほとんどありません。忙しい朝も、保護者の方とお子さんの出かける準備だけで、その他の細々した登園の準備はありません。登園した後、保育士と挨拶を交わしたら、登園チェックをして荷物の整理もなく出かけていただけます。保育園からも、いろいろ持ち帰り、毎日洗濯するなどの手間もほとんどありません。保護者の方の負担が減ったことで出来た時間を、お子さんに使っていただくためです。お子さんと1対1の時間をほんの少しの時間持つだけで、いろいろなことがスムーズに流れます。このかわりの積み重ねが思春期以降の難しい時期を支えるのだと考えています。

大切にしていること

- みんな違ってみんないい
- いつも、子どもを中心に考える
- 自分のことを自分で決めてやっていく
- 誰もが笑顔に
- 共に育ちあう

たいりん保育園は、お子さんと保護者の方の第2の家。生まれて間もない子どもが育ついのちのお家。子どもたちと、保護者や保育者の笑顔が輝くお家。保護者の方が保育園から出られるときには「いってらっしゃい」お迎えの際は「おかえりなさい」と声を掛けさせていただきます。これらのことを大切にしながら、寛容な心で繋がり、保護者の皆さんと一緒に乳幼児期の子どもの育ちを支え、お子さんの成長の喜びを分かちあいたいと思っています。

手ぶら登園 準備物無し、園で一括管理 愛知県の市町では公立園でも導入していく方向の制度です。

保育園に入園する際は、たくさんの準備物が必要です。一般的な準備物は、以下のようなものです

- エプロン（園の指定が多い） 1日3枚 洗い替えて6枚準備 汚れて取り換えるので年間10枚以上必要
- おしぼり 1日3枚洗い替えて6枚 これも取り換えるので年間10枚以上 ○ループ付きタオル 洗い替えて2枚取り換えるけど何とか年間3枚～4枚 ○昼寝用寝具類（上下布団、布団袋） ・制服、制帽、指定のスモック、
- ・着替え入れ ビニール袋（汚れ物入） ・ぞうきん ・他に毎日おむつとおしりふきを持参
- ・**ゴム付き帽子（園でも購入できます）、通園かばん** ○**コップ入れ（幼児クラス）**

（○印は毎日、又は週1回持ち帰って洗濯し、週明けに持って登園します）

エプロン、おしぼり、手拭きタオル類入園当初準備5,000円～、布団上下セット約3,500円

幼児は通園カバン、上履き入れ、着替え袋にコップ袋5,000円～10,000円以上 手作りの指定があると、その分の時間や材料費も必要です。幼児クラスになるとスモックや個人持ちの保育教材の粘土やハサミ、サインペンや絵の具などの購入で毎年3,000円～8,000円かかります。（ネット等調べ）**公立園でも市の定める保育料以外に追加でかかる費用です。**

菰野町のたいりん保育園は入園時、保護者に準備していただくのは、上の↑下線のものだけです。入園されるときに**入園料として8,000円**（年齢によって異なります）持ち物の管理は園でするので、持ち帰って洗濯するのは汚した着替えの服のみ。ただし、廃棄物の廃棄料と消耗品費、人件費分等の経費と諸費用を年間の平日の日数で割って、一人1日110円をいただいています。その他に公立園同様 日本スポーツ振興センター保険料、絵本代、電車バス等交通費、幼児クラスの平日給食費（土日は別料金）が、市の定める保育料以外に追加でかかる費用になります。

桑名たいりん保育園では、おむつのサブスクのように、希望される方について取り入れていきます。入園料は新規の希望者のみで、在園の方で年度の初めから、または途中から始められる方は、その時点で必要な経費（年齢で異なります）とレンタル料・管理費として1日100円ほどいただく予定です。業者との契約もまだですので、金額は未定です。100円より高くないようにと思っています。

厚生館保育所の先生方と入園説明会の時（2月）までに詳しいことを相談して、決めたいと思います。

◆子ども子育て応援センターキラキラに関して

- ・前キラキラの活動を引き継いで、地域の子育て中の保護者が孤立せず、いつでも相談に来られるような施設にしたいと考えております。
- ・テレワークブースは当初より減らし、授乳室や相談室に使えるようにしました。
- ・センターの利用者と園児の生活空間は、明確に分けてあり園児の保育室に外部の方が勝手に立ち入ることはありません。センターの入り口は保育園とは別になっており来園者の動線には十分配慮しております。トイレも園児とは別です。利用者の受付・名簿管理、入退室のチェックを徹底し、不審者が園内に入ることはありません。

◆給食について

- ・公立保育園と同じメニューの食事を提供します。
- ・幼児クラスの給食費は、桑名市の給食費や主食費と大きな差のない金額を設定できるよう検討します。
- ・アレルギーを持つお子さんの対応は、医師の指示書に従って除去食を提供します。
- ・自分で育てた野菜を調理して食べる経験や給食の下ごしらえを手伝うなど食育活動を通して食への興味を育み、食を好きになるきっかけが出来ればと思います。おいしく楽しく食べることを大切にし、完食指導は致しません。

- ◆SNSについては、保育内容を積極的に情報発信することは、市民の様々な意見や考えに触れる機会が増え、保育内容の向上につながるため、積極的に行っていきたいと考えておりますが、個人情報保護と、「個人的にSNSに載せないでほしいという声」には十分配慮します。菰野たいりん保育園の保護者には、個々で承諾書を提出していただいております。

◆教育的活動について

・菰野たいりん保育園では、体育遊び、リトミックを月1回、歌を楽しもう、絵本の読み遊び・キッズサッカースクールを年3～6回、陶芸は年1回、自然保育研修は年3回、外部から講師を招いて体験しています。園の目標を講師に伝え、「何かが出来るようになることを目標とするのではなく、とにかく楽しく好きになること、活動の中で周りの友だちの状況に気づくことやコミュニケーション等を大切に」して行います。「体を動かすことが好きになる」「音楽に触れ表現が楽しくなる」「絵本の世界で遊び想像力が豊かになる」「友だちの良さを発見し共に楽しむ」「自然に触れ、五感で感じながら遊ぶ」ということをねらいとしています。また、その子のやりたい気持ちを尊重しています。2～3回体験すると、初めは見ていた3歳児も興味を持ちみんなと笑顔で参加していますよ。

桑名においても多様な人や多様な体験に出会える機会を徐々に持ちたいと思っておりますが、導入については、子どもたちの状況や厚生館保育所の先生方と相談しながら進めていきたいと考えております。

・費用は園が負担し保護者負担は一切ありません。

◆人員配置について

・現厚生館保育所の先生方に新しい園に残っていただき、体制を維持していきたいと考え、法人からも桑名市や先生方をお願いをしております。人数についても、予定ではありますが、現在の厚生館保育所と同程度の職員配置を考えております。

・昨年と今年度は厚生館保育所については、建て替えのための引っ越しなどもあり、ゆとりある人員配置にしてあると桑名市より聞いております。保育士の配置については、桑名市の他の公立園においても私立園においても「国の基準通り」というのが基本ですが、出来るだけゆとりのある人員配置をしていきたいと考えております。

◆今後のスケジュール

<建設について>

8月・・・建設工事開始

1月・・・入園決定通知書送付

2月・・・入園説明会

3月中旬・・・完成

3月後半・・・検査

3月20日・・・内覧会予定

3月26日・・・令和7年度卒園式

3月29日・・・引っ越し

4月1日・・・開園

お問い合わせはこちらへ

たいりん保育園

TEL 059-394-0155

✉ info@tairin.or.jp

HP <https://tairin-hoikuen.jp/>



皆様のご要望にお応え出来るよう、桑名市と厚生館保育所の先生方と、今後保育内容についても運営についても協議し詰めていきたいと考えています。何かご不安なことやご質問があればいつでもお尋ねください。より良い公私連携型保育所を、保護者の皆様と一緒に創っていききたいと考えています。

個人でも意見を出しやすい雰囲気を作り、保護者の皆さんの声に耳を傾け透明な運営を大事にしていきたいと思います。改善点ももちろん聞かせていただきますが、「こうしたらみんなが良くなるんじゃない？」という前向きで、より多くの方の安心や満足につながるようなご提案や、子どもたちのためにどうしたら良いかという視点を大切にした声を届けていただければと思います。



1階

園庭



保護者駐車場

2階

